

# 令和4年度第1回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

## ■開催

令和4年6月23日（木）午前10:30～11:30 常総市役所議会棟2階大会議室

## ■出席

委員：海老原委員（女性団体じょうそう事業委員会），篠崎委員（自治区長連絡協議会），尾上委員（常総市身体障がい者福祉協議会），高橋委員（シルバークラブ連絡協議会），中村委員（市議会），◎鈴木委員（筑波大学），國下委員（茨城運輸支局），山浦委員代理（県交通政策課），早瀬委員代理（常総工事事務所），池田委員（常総警察署），北村委員（関東鉄道株鉄道部），岡野委員代理（関東鉄道株自動車部），相山委員（株アイヤマ観光），松村委員（有）三妻タクシー），谷田部委員（関鉄労組），吉田委員代理（市商工会），細谷委員（市社会福祉協議会），西田委員（副市長），横島委員（市長公室長），飯泉委員（総務部長），堀委員（福祉部長）

※◎：議長

事務局：戸塚都市建設部長，神達都市計画課長，前島補佐，小島室長，岡本係長，鈴木主幹（記録者），猪瀬主事  
草間主幹（市社会福祉協議会）

## ■内容

協議会役員の改選について

報告第1号 令和3年度事業報告について

報告第2号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

議案第1号 令和3年度歳入歳出決算について

議案第2号 令和4年度事業計画（案）について

議案第3号 令和4年度歳入歳出予算（案）について

議案第4号 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金・

地域公共交通計画による認定申請について

その他 コミュニティバスの導入に向けたスケジュールについて

■協議内容（◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午前10:30

【協議会役員の改選について】

互選により，会長に鈴木勉委員，副会長に西田将人委員，監事に高橋智子委員と浅野実成委員が任命された。

【報告第1号】令和3年度事業報告について

意見なし

【報告第2号】予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

- ： お断り件数についてだが，利用者多い時間帯にお断り件数も増えるのは理解できるが，12時便のお断り件数が顕著であるように感じる。原因はわかるか。令和3年度のみ傾向なのか。
- ▲： 12時便は車両ローテーションで2台が昼休憩をとるため3台での運行となっている。また，これから外出する方と，外出を終えて帰宅する方の利用が重複しやすい時間帯であるため，お断り件数が多いのではないかと分析している。傾向としては例年と同様である。
- ： 一方で8時便の利用者もお断り件数が少なく，5台で運行している。お昼の時間帯をカバーできるようなローテーションなど工夫が必要だと思うがいかがか。
- ▲： 限られた台数で運行しているので，休憩時間など運行事業者と協議しながら検討できればと思う。
- ◆： 運転手の労務管理などの課題もあるので解決は容易ではないと思うが，今後も検討が必要なことだと思う。
- ◆： 今年度のデータがあればお示しいただきたい。昨年度と比較した利用状況などわかるか。
- ▲： 4月分までデータを抽出しているが，ほぼ横ばいである。

【議案第1号】令和3年度歳入歳出決算について

意見なし

【議案第2号】令和4年度事業計画（案）について

- ： 絹西小学校ではきぬの里地域促進バスという名称で，スクールバスのようなバスが4，5台運行しているが，スクールバスではなく地域を促進するためのバスということで運行している。教育委員会では，学校統廃合の議論が始まっているが，学校が統合されると，廃校となったほうは通学距離が10km以上になってしまう児童もいるので，そういった需要にも対応できるのか。児童たちが通学でコミュニティバスを利用できるのか伺いたい。
- ▲： コミュニティバスとスクールバスですみ分けするのか，または時間帯などで混乗させるかといった

議論や、コミュニティバスは有料を前提に検討しているが、スクールバスはどうするかなど、道路運送法による規制にも留意しながら、教育委員会と研究していければと考えている。

- ： スクールバスは積み残しが許されないなど、制約への対応が非常に重要だと思うので、慎重に検討いただきたい。

【議案第3号】令和4年度歳入歳出予算（案）について

意見なし

【議案第4号】令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金・

地域公共交通計画による認定申請について

意見なし

【その他】コミュニティバスの導入に向けたスケジュールについて

- ： 支局へは相談しているのか。
- ▲： ルートなどが具体化していないので、状況を見て相談させていただきたい。

・その他意見

- ： 道の駅が開業するとのことだが、交通網の整備が重要だと感じている。マイカーだけではなく公共交通での来場する方もいると思うので、常総線を利用いただきたいと考えているところ。今後どのような検討があるのか。
- ： 常総線を利用して市外から訪問するということは想定できるが、駅からの移動手段がないのが現状。昨年度からコミュニティバスのルート等は議論していたが、鬼怒川西部地区への東西軸としての機能が主であり、幹線道路を通るのみで利用者数的にも不十分だと感じていた。常総IC周辺は成田方面からのインバウンド需要や都心から約1時間で治安がよいなどこれからの市の心臓部になるところ。なのに公共交通機関がないのは私としても理解しがたいので、検討いただければと思う。
- ： どの駅を基点にするか。水海道駅なのか、三妻駅なのか、石下駅なのか。人流を読むのは非常に難しいが、道の駅と公共交通機関が接続している事例は多い。その接続をどうするかなども、コミュニティバスの検討に必要なことだと思う。
- ◆： 様々な交通手段がある中で、どう組み合わせるかが非常に大事である。コミュニティバスはもちろん、それ以外の交通手段と道の駅がどう連携するか、どこと結ぶか、それらを注意しながら検討を進めていくべき。
- ： 道の駅開業まで1年切ったところ。タイムスケジュール的には道の駅開業が先行してしまうが、コミュニティバス運行開始までの期間に別の移動手段で補う方法がないかなども考えていきたい。道の駅周辺に約2,000人の雇用が見込まれているが、公共交通を利用して通勤するケースも想定されると聞いている。どれくらいの割合で公共交通を利用するかはまだ不明だが、どのような輸送手段がある

のか、本件に限らずいろいろご相談させていただきたい。よろしくお願いします。

閉会 午前11:30